

平成28年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(後期:2016年10月～2017年3月)

| 期日 | 曜 | 時間 | 講座名 | 講師 | 内容 | 対象 | 定員 | 会場 | 持ち物等 | 申込方法 |
|----------------------------|---|-------------|---------------------------------------|-----------------------|---|----|-----|-----|------|---------------|
| 10月1日 | 土 | 13:30～15:00 | シリーズ「子ども」連続講座③ 「江戸時代の子ども」 | 渡部 浩二 | 桑名藩領柏崎陣屋に勤務した下級武士の『柏崎日記』から江戸時代後期に生きた子どもの様子を探ります。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 10月2日 | 日 | 13:30～15:00 | 特別講演会 「中世越後の政治と文化 ～中世弥彦山の社会勢力～」 | 山本 隆志 氏 (筑波大学名誉教授) | 平安時代後期から戦国時代までの武士・寺院・荘園の関係などを中心に研究してこられた山本隆志先生(筑波大学名誉教授)に、上杉氏やその家臣たちの動向など、中世越後の政治・文化の諸相についてご講演いただきます。 | 一般 | 150 | 講堂 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 10月8日 15日 22日 29日 | 土 | 13:30～15:00 | 古文書講座 ～古文書のツボ～(全4回) | 田邊 幹 | 「安禅寺御用記」等地域の古文書をテキストにして、くずし字の読み方、内容の考えかたのツボを学びます。 | 一般 | 35 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 11月5日 12日 | 土 | 13:30～15:00 | 古文書講座 ～江戸時代を探る～ 前編・後編 | 渡部 浩二 | 企画展「お菓子と新潟」に関連して、江戸時代の越後国の飴売りに関係する古文書をテキストにし、新潟県の菓子文化の一端を探ります。 | 一般 | 35 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 11月19日 26日 | 土 | 13:30～15:00 | 古文書講座 ～越後文書宝翰集を読み解く～ 前編・後編 | 前嶋 敏 | 「越後文書宝翰集」のうちの古文書をテキストにして、中世越後の様相を探ります。 | 一般 | 35 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 12月10日 | 土 | 13:30～15:00 | 原始古代の酒を探る | 西田 泰民 | 平城京では酒作りを担当した役所の遺跡が見つっていますが、それ以前の酒については、魏志倭人伝に記載があるものの、直接の証拠はまだ発見されていません。酒に結びつく可能性のある遺物について考えます。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 12月17日 | 土 | 13:30～15:00 | シリーズ「子ども」連続講座④ 「年中行事と子ども」 | 三国 信一 | 年中行事の中には、子どもが重要な役割を果たすものがあります。県内の事例を中心に紹介し、年中行事における子どもの位置付けについて考えます。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 1月21日 | 土 | 13:30～15:00 | 布を読み解こう ～糸づくりに注目して～ | 陳 玲 | 冬季企画展関連講座。自家製布の特徴といえば、作り手が身近にあるありふれた素材を利用し、生活のニーズに応じて作ったもの。そこには、素材の選択、採取、繊維の抽出まで、布づくりのわざと作り手の美意識が凝縮されています。そのような特徴を掴みながら、糸づくりに注目して解説します。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 1月28日 | 土 | 13:30～15:00 | 縄をつくる ～布をつくるために～ | 宮尾 亨 | 冬季企画展関連講座。縄土器という名称をもたらしした縄目文様をつくる様々な縄を紙テープでつくります。一見不合理に見えるような撚り方の様々な縄の撚り方を実習し、そのような縄の生まれた背景を考えます。 | 一般 | 25 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |

| 期日 | 曜 | 時間 | 講座名 | 講師 | 内容 | 対象 | 定員 | 会場 | 持ち物等 | 申込方法 |
|-------|----|--|--|-----------------------------|---|-------|--------------------------|-----|----------------|---------------|
| 2月11日 | 土祝 | 13:30～15:00 | 教科書の中の考古資料 | 宮尾 亨 | 学校教育で使用される教科書の中で引用される考古資料を通して、現代社会の中の考古学や博物館の意味を考えます。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 2月18日 | 土 | 13:30～15:00 | 火焰土器の鶏頭冠をつくる | 宮尾 亨 | 火焰土器を特徴づける鶏頭冠突起を紙粘土で実際につくります。単なる模倣ではなく、出土品を観察して復元した縄文時代の人びとと同じつくりを実習し、このような造形の意味を考えます。 | 一般 | 25 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 2月25日 | 土 | (一般) 10:30～12:00 (親子) 13:30～15:00 | 作ってみよう 「本格まが玉」(冬の部) | 山本 哲也 | 一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「一般向け」は中学生以上で個人参加が可能、「親子向け」は「保護者と小学生以下の組み合わせ」で複数名での参加を原則とします。当館ショップにて販売する「青田石(せいでんせき)」を購入してから参加してください。(300円で販売予定) | 一般・親子 | (一般) 15 (親子) 30 | 研修室 | 青田石 (内容を参照) | 電話、葉書、FAX、メール |
| 3月5日 | 日 | 13:30～15:00 | 講演会 「アンギンと日本のタテ ^{たて} 織り織物」 | 吉本 忍氏 (国立民族学博物館 名誉教授) | アンギンはこれまで「編物」として理解されてきたが、タテ振り織組織の「織物」として位置づけられる。そうしたタテ振り織組織の織物は、日本最古の織物であり、その織り技術は、アンギンのみならず、莫座(ゴザ)や蓆(ムシロ)、簾(スタレ)や蓆(ヨシズ)などを織る技術として継承されていることについて解説する。 | 一般 | 150 | 講堂 | — | 電話、葉書、FAX、メール |
| 3月18日 | 土 | 13:30～15:00 | 博物館学人物伝・その7 「動物園学・水族館学の人々」 | 山本 哲也 | 平成23年度にスタートした「博物館学人物伝」の第7回です。今回は、分野別博物館学とも言うべき「動物園学」「水族館学」に焦点を当て、日本の動物園の発展に尽力した古賀忠道をはじめ、「動物園学」を初めて提唱した中川志郎などの人物を取り上げます。 | 一般 | 50 | 研修室 | — | 電話、葉書、FAX、メール |

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

*講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へは

ご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報は、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

